

沙枝の詩

清河行見

一石

竹林の聲

重

大正十二年秋月
沙枝

和聲

沙枝

大正十二年秋月

手てのうへん

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

卷之三

1875. Oct. 22. - At 8 A.M. - I took
the boat to the village of
Kingsbury, where I
spent the day. - At 4 P.M.
I took the boat back to
the city.

今知行密考唐物之
自序于之同人之
予

卷之三

卷之三

卷之三

175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200

卷之三

卷之三

卷之三

七言律詩

一

送人歸蜀

王昌齡

蜀道難，難於上青天。

但使願無違，

千里共長安。

二

送人歸蜀

王昌齡

蜀道難，難於上青天。

但使願無違，

千里共長安。

三

送人歸蜀

王昌齡

蜀道難，難於上青天。

但使願無違，

千里共長安。

四

送人歸蜀

王昌齡

蜀道難，難於上青天。

但使願無違，

千里共長安。

五

送人歸蜀

王昌齡

蜀道難，難於上青天。

但使願無違，

千里共長安。

六

送人歸蜀

王昌齡

蜀道難，難於上青天。

但使願無違，

千里共長安。

七

送人歸蜀

王昌齡

蜀道難，難於上青天。

但使願無違，

千里共長安。

八

送人歸蜀

王昌齡

蜀道難，難於上青天。

但使願無違，

千里共長安。

九

送人歸蜀

王昌齡

蜀道難，難於上青天。

但使願無違，

千里共長安。

十

送人歸蜀

王昌齡

蜀道難，難於上青天。

但使願無違，

千里共長安。

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百
一百零一
一百零二
一百零三
一百零四
一百零五
一百零六
一百零七
一百零八
一百零九
一百一十
一百一十一
一百一十二
一百一十三
一百一十四
一百一十五
一百一十六
一百一十七
一百一十八
一百一十九
一百二十
一百二十一
一百二十二
一百二十三
一百二十四
一百二十五
一百二十六
一百二十七
一百二十八
一百二十九
一百三十
一百三十一
一百三十二
一百三十三
一百三十四
一百三十五
一百三十六
一百三十七
一百三十八
一百三十九
一百四十
一百四十一
一百四十二
一百四十三
一百四十四
一百四十五
一百四十六
一百四十七
一百四十八
一百四十九
一百五十
一百五十一
一百五十二
一百五十三
一百五十四
一百五十五
一百五十六
一百五十七
一百五十八
一百五十九
一百六十
一百六十一
一百六十二
一百六十三
一百六十四
一百六十五
一百六十六
一百六十七
一百六十八
一百六十九
一百七十
一百七十一
一百七十二
一百七十三
一百七十四
一百七十五
一百七十六
一百七十七
一百七十八
一百七十九
一百八十
一百八十一
一百八十二
一百八十三
一百八十四
一百八十五
一百八十六
一百八十七
一百八十八
一百八十九
一百九十
一百九十一
一百九十二
一百九十三
一百九十四
一百九十五
一百九十六
一百九十七
一百九十八
一百九十九
二〇〇

1. *Emilia* - *Emilia* + *Emilia*
2. *Emilia* - *Emilia* + *Emilia*

2) *Leucostoma* *luteum* Schlecht.

وَلِلَّهِ الْحَمْدُ لِأَنَّهُ أَعْلَمُ بِكُلِّ شَيْءٍ وَلِمَا
أَنْتَ مَعْلُومٌ بِهِ مِنْ أَنْوَاعِ الْجَنَّةِ وَالْجَنَّاتِ
وَالْمَرْجَانِ وَالْمَرْجَانَاتِ وَالْمَرْجَانِ الْمَرْجَانِ

~~100~~ 29

國立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

元和七年

カニリニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

三

カニリニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

四

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

井告多二十三

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

アサヒニシテノコ

國立公文書館

10月2日 朝霞の宿
10月3日 朝霞の宿

10月4日 朝霞の宿

10月5日 朝霞の宿

10月6日 朝霞の宿

10月7日 朝霞の宿

10月8日 朝霞の宿

10月9日 朝霞の宿

10月10日 朝霞の宿

10月11日 朝霞の宿

10月12日 朝霞の宿

10月13日 朝霞の宿

北
其の後

新羅の爲

其の後

卷之三

卷之三

正月廿八

日向

卷之三

می خواهیم
که این روز
که این روز
که این روز

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

井戸水
水桶水

前稿は是也

其の如き

事の如き

國立公文書館
National Archives of Japan

卷之三

卷之三

併其餘一卷

亦無人

卷之三

卷之六

卷之三

卷之三

卷之六

卷六

卷之三

卷之三

卷之三

王晉之集

卷之二

二弟九月廿一號

軍令委付次長

卷之三

の事務所に於ける事務の運営

大正元年九月

伊勢守の御内書

御内書

御内書

伊勢守の御内書

伊勢守の御内書

伊勢守の御内書

伊勢守の御内書

伊勢守の御内書

伊勢守の御内書

伊勢守の御内書

伊勢守の御内書

伊勢守の御内書

庚

一月五日

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

晴

卷之三

112

卷之二

七
利
多
也

少卿之誠也

一
五
七

卷之二

白
一
如
此
之
事
不
可
以
不
知
也

卷之三

國立公文書館
National Archives of Japan

國立公文書館
National Archives of Japan

五
卷之三
御文庫

佛經二部

金剛經

般若經

大般若經

四十一

大般若經卷之三

大般若經卷之三

國立公文書館
National Archives of Japan

卷之三

卷之三

卷之三

萬葉集

卷之三

卷之三

七言律詩
送別
丁巳仲夏
王國維

高麗書

宰相の御内閣に
在りては

卷之三

七
西
了
和
十
自
多
卷

總編目

總編目

總編目

總編目

總編目

算目

總編目

卷一

正月廿四日
年次甲子
歲在癸卯
歲次甲子
歲在癸卯
歲次甲子
歲在癸卯

一月廿四日
年次甲子
歲在癸卯
歲次甲子
歲在癸卯
歲次甲子
歲在癸卯

正月廿四日
年次甲子
歲在癸卯
歲次甲子
歲在癸卯
歲次甲子
歲在癸卯

二三

一

二四

風也かし、
風也かし、

正月の朝、
雪がまだ残る中、
北風が吹く中、
木の葉が舞う中、
鳥の声が聞こえず、
人間の声も聞こえず、
物語の聲も聞こえず、
歌の聲も聞こえず、
笛の聲も聞こえず、
琴の聲も聞こえず、
絶えず寂しい音が響く。
この音は、
物語の聲、歌の聲、
笛の聲、
絶えず寂しい音。
この音は、
絶えず寂しい音。

明治 桜まよひの花
夜半の月の下
あくまで左の五重塔
外見は高き往古一時
塔氣を盡す事少く
將來はも御一派にぞ
此處は御身の御三昧
身の御三昧

請取半二月臺御加送事

合百文者

右屬前法務大臣以御承取

請取半二月臺御加送事

明應半二月臺御加送事

2005.9.11 +

御事の多きに付松前

木上を題、有見上草

難波の金持馬上之子

奉上りぬと上人れ之上

此の多難馬上

馬上

木上

御事の多きに付松前

木上を題、有見上草

馬上

成化丁巳年

卷之三

十一

行公行立九

游人行立九

行公行立九

行公行立九

行公行立九

行公行立九

行公行立九

行公行立九

宋元
文獻
卷一

宋元

卷一

宋元文獻卷一

0

This image shows a severely damaged page from an old document. The paper is off-white or light beige, showing significant signs of age such as yellowing, foxing, and numerous small brown spots (foxing). There are several large, dark, irregular smudges and stains scattered across the surface, most notably one in the upper left quadrant and another larger one in the center. Faint, illegible markings are visible through the damage, appearing as ghost-like traces of text and symbols. A vertical column of text is partially legible on the right side, while other parts of the page remain completely obscured by the damage.

20. 10. 25.
21. 10. 26.
22. 10. 27.
23. 10. 28.
24. 10. 29.
25. 10. 30.
26. 10. 31.
27. 11. 1.
28. 11. 2.
29. 11. 3.
30. 11. 4.

清平樂

卷之三

七
三

— 19 —
— 19 —

乃
大
國
之
君

卷之二

卷之三

1

其後又作

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

其後又復有
人來求之
則已不知所
在矣

三

卷之三

三

中
國
文
物
考
古
學
史

一
おもて
の
よ

挿入紙 161-56

嘉慶十三年正月五日

收存

李秉

前書奉申候

此中

始至大清方之川其

事甚

國

社

ナリ

乃知大清方三事

可

多

事

多

事

多

事

多

事

多

事

多

事

多

事

多

事

多

事

1783 May 12
Wm. C. & Son
1783 May 12
Wm. C. & Son

國朝之書也

毛氏
毛氏

故人不復見
此心空自知

卷之三

卷之三

10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
849
850
851
852
853
854
855
856
857
858
859
859
860
861
862
863
864
865
866
867
868
869
869
870
871
872
873
874
875
876
877
878
879
879
880
881
882
883
884
885
886
887
888
889
889
890
891
892
893
894
895
896
897
898
899
899
900
901
902
903
904
905
906
907
908
909
909
910
911
912
913
914
915
916
917
918
919
919
920
921
922
923
924
925
926
927
928
929
929
930
931
932
933
934
935
936
937
938
939
939
940
941
942
943
944
945
946
947
948
949
949
950
951
952
953
954
955
956
957
958
959
959
960
961
962
963
964
965
966
967
968
969
969
970
971
972
973
974
975
976
977
978
979
979
980
981
982
983
984
985
986
987
988
989
989
990
991
992
993
994
995
996
997
998
999
999
1000

残る内切左、七五三と申すと並んで
三月十六、一坊惠心と號名と
言ふが、のどをうする個體は前記
所引の如きの如く、實に後有
也あしりト定ム。之はとて作間を
義と云ふ。とて、五之又
代焉へば、まことに勢人むかひのう
盛岡藩が、門院は、即ち
黒柳家、是が信重に於て、江浦領主
りし前半は、即ち後方より事
難を知り、即ち成敗の行を考へ
たるが、難事あり、即ち、いわ
れども、仰うどと、私的に行はるゝは
ゆえ、守らざらば、仰る事無く、是
ゆゑ、小威は仰り、計所うむ作
事のあつて、門院の如きを云ふ

政の事

七月

ま・キシ作夜もあ

し流促と

下りうる有事

三月を以て

先に肩車の一千隊

よきとあつ

出力

らはんせん

白半身

當流

領と

名脇うら領を

防ぐ

掠めの代責

シリハナリ

一社

正月

正月

正月

正月

正月

正月

年中

十日

傳

國立公文書館
National Archives of Japan

國立公文書館
National Archives of Japan

卷之三

上卷

卷之三

卷之三

之實也

卷之三

卷之三

國
之
民
也
其
國
之
民
也

卷之三

萬葉集

卷之三

沙村也
渡禪
門也
沙村也
可也
也
也
也

162
70
止

